

100th
Anniversary



CATHOLIC KOFU CHURCH
1925 - 2025

2025年 11月 第778号

教会だより

カトリック甲府教会 月報

〒400-0032 山梨県甲府市中央2-7-10
Tel / Fax 055-237-2531 <http://catholic-kofu.com>
編集・発行 カトリック甲府教会 広報委員会

きょうこう しゅうよんせい 2025年10月26日、「お告げの祈り」でのことば

親愛なる兄弟姉妹の皆様。こんにちは。

今日の福音（ルカ 18・9-14）は、神殿で祈るファリサイ派の人と徴税人という、二人の人物をわたしたちに示します。



Leo PP. XIV

前者は数々の功績を誇ります。彼が行った善業は多く、そのため彼は自分が他の人よりも優れていると感じ、他の人々をさげすんで裁きます。彼はまっすぐに立ち、頭を高く上げます。この態度は明らかにうぬぼれています。彼は自分が律法を正確に守ったと述べますが、その態度は愛に欠け、「与えること」と「所有すること」、負債と信用から成り立っており、あわれみをもちません。

徴税人も立って祈りますが、その祈り方は異なります。彼には多くのゆるしを必要とすることがあります。彼はローマ帝国の金を集める者であり、同胞を犠牲にして得た収益で投資することを認める請負契約によって働いています。しかし、たとえ話の終わりに、イエスはいいます。二人のうちで、「義とされて」家に帰ったのは、すなわち、神との出会いによってゆるされ、新たにされたのは、この徴税人のほうだと。なぜでしょうか。

何よりもまず、徴税人は、神の前に自分を示す勇気と謙虚さをもっています。彼は自分の世界に閉じこもることも、自分が悪事を犯したことであきらめることもありません。彼は、自分が他の人に対して振るった権力によって安全に守られた、人々から恐れられる場所を離れます。彼は、厳しい視線と辛辣な審判に直面することを承知で、護衛もなしに、一人で神殿にやって来ます。そして、主の前に来ると、遠くから、頭を垂れて、短いことばを唱えま

す。「神様、罪人のわたしをあわれんでください」(13 節)。

このようにしてイエスはわたしたちに力強いメッセージを示します。わたしたちを救うのは、自分の功績をひけらかすことでも、自分の過ちを隠すことでもありません。むしろ、わたしたちを救うのは、神と自分と他の人々の前に、自分のありのままの姿を正直に示し、ゆるしを願い、主の恵みに身をゆだねることなのです。

聖アウグスティヌスは、このエピソードを注解する際、ファリサイ派の人を、恥と傲慢のゆえに自分の傷を医者に見せず病人にたとえ、また、徴税人を、謙遜と知恵をもって、それがどれほど見苦しく見えても、自分の傷を医師にありのままに示し、助けを求めるもう一人の病人にたとえます。そして、結論としてこう述べます。「自分の病気を示すことを恥じなかったこの徴税人がいやされて戻って来ても、わたしたちは驚かない」

親愛なる兄弟姉妹の皆様。わたしたちも同じようにしようではありませんか。自分の過ちを認め、それをありのままに示し、責任を負い、神のあわれみに身をゆだねることを恐れてはなりません。そうすれば、わたしたちのうちに、わたしたちの周りで、神の国が成長します。神の国は、高慢な者ではなく、へりくだる者のものであり、祈りと生活の中で、誠実さとゆるしと感謝を通して育つからです。

聖性の模範であるマリアに、このような徳が成長するようにわたしたちを助けてくださることを祈り求めます。
(カトリック中央協議会Hpより)

聖書週間について

聖書週間は、1976 年 5 月の定例司教総会で、聖書に親しみ、聖書をより正しく理解するための全国的な運動として「聖書週間」設定案が当時の宣教司牧委員会から提出され、同年 11 月の臨時司教総会において 1977 年 11 月の第 3 日曜日からの 1 週間を「聖書週間」とすることが決定されました。さらに、聖書委員会の発足と同時に委員による活発な啓蒙活動によって、日本のカトリック教会の中でも聖書への関心が高まってきました。その後、カトリック司教協議会による諸委員会の機構改革にともない、聖書委員会は 1998 年 2 月に解消されましたが、聖書週間は常任司教委員会によって引き継がれ、リーフレット「聖書に親しむ」とポスターの制作も継続されることとなり、今日に至っています。

今年の聖書週間は、11 月 16 日～23 日です。

今年のテーマは「あなたがたに平和があるように」(ヨハネ 20・19) いたしました。





おしらせ



1 きょうかい いんかい 教会委員会

11 月 2 日（日）11：40 ～ サントルチア講堂にて教会委員会が行われます。

※当日参加できない場合は、代理の方に出席をお願いしてください

2 きてん 帰天のおしらせ

テレザ 古屋 喜久美様（ふるや きくみ さま）88才（東ブロック）

10月 8 日（水）帰天されました。10月9日（木）カトリック甲府教会聖堂にて葬儀ミサが行われました。

アビラの聖テレジア 田草川 京子様（たくさがわ きょうこ さま）92才（西ブロック）

10月17日（金）帰天されました。10月25日（土）カトリック甲府教会聖堂にて葬儀ミサが行われました。

お二人の在りし日を忍び、永遠の安息をお祈り致しましょう。

3 ししゃついでう 死者追悼ミサについて

- ・ 日時 11 月 3 日（月・文化の日）10 時 30 分～
- ・ 会場 聖堂
- ・ 対象 2024 年 11 月～2025 年 10 月までに帰天された方。
- ・ 参加者 自由 一般の方（未信者）も参加いただけます。
- ・ その他 対象の帰天された方は、祭壇前にお名前を顕示致します。また、祭壇前にご遺影を置くことが出来ますので、希望される方は写真を額に入れて当日ご持参下さい。

○ 問合せ 木村 090-8031-9608 宮澤 090-1808-9718

4 せいしょうねんいくせい いんかい 青少年育成委員会

子どものお祝い：11 月9日（日）のミサの中で子どもたちを祝福し記念品をプレゼントします。対象は小学校 2 年生までの子どもです。皆さんでお祝い致しましょう。

初聖体クラス：令和 8 年度 初聖体クラスについて 令和 8 年に小学 4 年生以上になる洗礼を受けたお子さんで初聖体を受けることを希望される方 は 12 月 31 日（水）までに青少年育成委員会各委員までお申し込みください。

担当：池田（090-4223-6727）

5 かいさい フリーマーケットの開催について

11 月 9 日（日）10 時 30 分の主日のミサ終了後（11 時 30 分頃）から 13 時 30 分まで教会の庭においてフリーマーケットを行います。

ご注意とお願い

- 感染予防対策
発熱時の不参加、マスクの着用、消毒等自主的な感染対策をお願い致します。
- ゴミの発生抑制
ごみの持ち帰り等ゴミの発生の少ない販売品等の工夫や個人のごみについては各自お持ちかえりをお願い致します。
- 駐車場について
一般信徒及びご来場者は西側駐車場への駐車をお願い致します。もし西側駐車場が満車の場合は遊技会館への駐車をお願い致します。路上駐車は短時間でもご近所のご迷惑になりますので厳禁致します。

6 サンパウロ^{いどうはんばい}移動販売

11月23日（日）センターホールにて、サンパウロの移動販売が行われます。カレンダー、手帳、各種取りそろえて販売していますので、ぜひご利用下さい。

7 交わり^{まじ}の会^{かい}

11月16日（日）10時30分の主日のミサ終了後、サントルチア講堂で交わり^{まじ}の会^{かい}を開催します。外国語グループのリーダーで欠席する場合は代理出席をお願いします。

各委員会^{かくいいんかい}の日程^{にってい}

きずな ^{かい} の会 ^{かい}	休み		
てんれいいんかい 典礼委員会	11月15日（土）	9：30 ～	センターホール
じょせいかい 女性会	11月16日（日）	11：30 ～	ドミニコ ^{へや} の部屋
ちいきふくしいんかい 地域福祉委員会	11月16日（日）	11：30 ～	センターホール
こっほういいんかい 広報委員会	11月30日（日）	11：30 ～	センターホール
せいかたい 聖歌隊	11月2日・16日	9：00 ～	聖堂 ^{せいどう}

せんきょうちしょうめいそくしん ひ けんきん 宣教地 召 命促進の日・献金（12 月 7 日）

キリストを知らない人に救いの福音を伝えることは、キリスト者一人ひとりに課せられた使命であり、神からの呼びかけにこたえること（召命）です。それゆえ、宣教地である日本において、すべての信徒がその使命を果たせるよう、また宣教に従事する司祭・修道者がよりいっそう増えるよう祈ることは、とても大切なことです。この日、わたしたちは、世界中の宣教地における召命促進のために祈り、犠牲をささげます。当日の献金はローマ教皇庁に集められ、全世界の宣教地の司祭養成のための援助金としておくられます。

待降節黙想会についてのお知らせ

待降節黙想会を指導して下さるのは、カトリック東京大司教区事務局次長の小田武直神父様です。小田神父様は1980年千葉生まれです。小田神父様は中学校時代から断続的に不登校になり、なんとか卒業して高校に進学したものの、早々に学校に行けなくなり、退学なさいました。その後、通信制高校に入學するもスクーリングに行けず、2年留年してようやく卒業なさいました。「小さい頃から、人に評価されたいという思いが強く、周囲の目を気にしすぎていた。自分はもっとできるはず、という根拠のない自信と現実との乖離に苦しんでいました。」と振り返っておられます。

中学時代から時々、夜中に父親の酒を盗み飲んでいました。現実逃避だったのですが、アルコール依存症に陥ってしまいました。就職した会社も深酒をして翌日仕事に行けないことが度重なり、数ヶ月で辞める羽目になってしまい、再び、ひきこもり気味になってしまったそうです。

そんな小田神父様にとっての転機は、医師に勧められてアルコール依存症の自助グループに繋がったことです。「その集いでは、ありのままの自分が受け入れられているという安心感がありました。」とおっしゃっています。

自助グループのミーティングに参加するようになって、引きこもりからも回復した小田神父様は、その経験を活かしてひきこもり支援をしたいと2010年に仲間と自助グループを立ち上げました。

その少し前に、たまたま足を踏み入れた教会で故郷にいるような安心感を覚え、カトリック教会に通い始め、やがて29歳で洗礼を受けました。

その後、司祭としてもひきこもりの人を助けたいと、神学校に入ったそうです。そこで一度スリップ（再飲酒）して、またも挫折を経験しながらも、ありのままの自分を受け入れてくれる神への信頼は揺るぎませんでした。再び飲酒を断つことを決意し、ついに司祭への道が開かれたのです。

皆様、このような貴重な経験をされて来られた神父様の指導して下さる待降節黙想会に、是非、ご参加ください。きっと、新しい信仰の光をいただくことができると思います。

1. 日時：2025年12月13日（土） 開始時刻は現時点では午前10時くらいを予定しています。
2. 会場：甲府カトリック教会 聖堂
3. 指導神父様：小田武直神父様（カトリック東京大司教区事務局次長 今年度よりカトリック徳田教会の協力司祭を兼任）
4. 対象者：甲府教会信徒・他教会信徒・洗礼志願者
5. 参加申込期限及び方法

（1）期限：2025年12月7日（日）

（2）申込方法：センター掲示板の申込用紙にご記名ください。

けいろう つど
敬老の集い

9 月 14 日 敬老の集いが行われました。

参加申込みは 27 名。同伴家族を含めると 33 名になりました。



甲府カトリック教会 敬老の集い 2025年（令和7年）9月14日

だい かいはこはまきょう く いちりゅうかいたいかい
第57回横浜教区一粒会大会

横浜教区一粒会大会が函嶺白百合学園にて 10 月 13 日に行われました。

大会テーマは、「わたしたちは神の民イエスさまについていこう」

甲府・塩山教会 27 名の参加 山梨地区全体で 56 名の参加となりました。





今月の教会カレンダー（典礼暦・外国語ミサ・行事等）



11月 2日（日）	ししやひ 死者の日 ねんかんだい しゅう （年間第31週）	10:30 11:40	ミサ きょうかい いんかい 教会委員会
11月 3日（月）	ししやついでう 死者追悼ミサ	10:30	ししやついでう 死者追悼ミサ
11月 7日（金）	はつきん 初金	やす 休み	
11月 9日（日）	きょうかい けんどう ラテラン教会の献堂 ねんかんだい しゅう （年間第32週）	10:30 11:30 15:00	ミサ フリーマーケット ポルトガル語ミサ (Português)
11月16日（日）	ねんかんだい しゅうじつ 年間第33主日	10:30 12:30	ミサ かんこくご 韓国語ミサ（ 한국어 ）
11月23日（日）	おう 主であるキリスト ねんかんだい しゅう （年間第34週）	10:30 17:00	ミサ えいご 英語ミサ (English)
11月30日（日）	だいこうせつだい しゅうじつ 待降節第1主日	10:30	ミサ（こども）
12月 5日（金）	はつきん 初金	9:30	ミサ
12月 7日（日）	だいこうせつだい しゅうじつ 待降節第2主日	10:30 13:00 15:00	ミサ ベトナム語ミサ (tiếng Việt) ポルトガル語ミサ (Português)

※ 11月7日の初金のミサは、お休みといたします。

